

# おわりに

2008年に山形大学男女共同参画推進準備室として第1回の調査を行ったのをはじめとして、2009年から文部科学省科学技術人材育成費補助金「女性研究者研究活動支援事業（女性研究者支援モデル育成）」「山形ワークライフバランス・イノベーション」の事業として3回、計4回のアンケート調査を行ってきた。本報告書では、直近の第4回の調査結果と、これまでの計4回の調査全体の結果をまとめてきた。山形大学という一つの大学、また4年という比較的短い期間という限定はありつつも、その中でどのような点が改善され、また、どのような点が課題として残っているか、把握できる点も多い。

最後に、各回の調査でご協力を頂いた多くの方々に感謝を申し上げたい。特に、毎年8ページにわたる長い調査票に対して回答頂いた方々にお礼を申し上げたい。自由記述ではアンケートの不備や回答がどう生かされるのかなど、厳しいコメントも頂いた。しかし、第1回が1,661人、第2回が1,329人、第3回が1,826人、第4回が1,510人と大変多くの皆様にご協力頂き、感謝している。また、調査表作成では、各部局の男女共同参画推進委員の方々にコメントを頂き、毎回少しずつ調査票を改善することができた。他に、調査対象者の人数把握では総務部人事課やEM部、調査表の配付回収では各部局の総務担当の職員の方々にご協力頂き、調査を実施することができた。

文部科学省科学技術人材育成費補助金「女性研究者研究活動支援事業（女性研究者支援モデル育成）」に採択されている大学・研究機関でも、本調査と同様のアンケート調査を行っているところがいくつかあり、先行する調査から一部質問項目を引用し参考にさせて頂いた。入手できた調査は、資料先行調査にまとめているので、本報告書と比較しながら見て頂ければ、本報告書の結果が山形大学の特徴か、他の大学・研究機関でも見られる全体的な傾向か考えることが可能だろう。

ただし、毎年度このように多くの人を対象として調査を行っている大学・機関はなく、様々な限界はありつつも、本調査結果は貴重なデータになると考えている。多くの方々のご協力を頂いた本調査の結果が、山形大学の、また他大学・機関の女性研究者支援、教職員や学生のワークライフバランス、また、高等教育機関の男女共同参画を考える際の一助となればうれしい。

男女共同参画推進室 調査担当 坂無 淳

## 山形ワークライフバランス・イノベーション

### 第2部 平成21年～23年度男女共同参画に係るアンケート結果報告書

2012年3月発行

発行 山形大学男女共同参画推進室

連絡先 〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12

Tel 023-628-4937,4938,4939 Fax 023-628-4014

URL <http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/>

E-mail [danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)